

**地域とともに育む、自らきたえ、高め合う国富の子****小浜市立国富小学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	10回 (のべ) 10日

**(2) 地域人材の活用 (のべ人数)**

講師・ゲストティーチャー	44人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	5人
登下校支援ボランティア	32人
その他 (庭木の剪定・除草等)	8人

**(3) 特色ある活動**

テーマ 「ふるさと教育」

**具体的活動内容****<コウノトリと国富の環境を調べよう>**

千町田と呼ばれる広大な田園地帯に位置する国富地区は、野生のコウノトリの営巣が国内で最後に確認された地である。コウノトリが飛来していた1966年頃まで、国富小学校「コウノトリクラブ」の先輩児童達は、経年に渡ってコウノトリを観察し、記録として残してきた。それは、現在まで国富小の大きな宝として残されている。

その後、コウノトリは土地改良など周辺環境の変化により姿を見せなくなったが、現在、地域ぐるみで再びコウノトリが飛来する自然豊かなふるさとづくりを目指して、多くの人々が活動を行っている。

本校では地域人材等の協力の下、5年生の総合的学習の時間を中心にコウノトリと国富地区の環境について学習した。

**①「コウノトリについて調べよう」**

- ・ 標本や写真、図鑑などの資料をもとに、コウノトリの形態や生態などを調べる。
- ・ コウノトリクラブの資料をから、当時の様子を学ぶ。
- ・ 宮川健三さん(コウノトリの郷づくり推進会)から、国富に住んでいたコウノトリの話聞く。

**②「国富地区の環境を調べよう」**

- ・ グループに分かれて、生き物の聞き取り調査や実態調査を行う。
- ・ 課外活動として、コウノトリの郷づくり推進会とJAわかさ青年部国富支部が企画した「田んぼの生き物調査」に参加する。
- ・ 国富地区の田んぼの水路にいるフナやドジョウなどを採取して観察を行い、熊野地区のビオトープに放流する。

**成果と課題**

- コウノトリをきっかけとして、地域の特色や自然について学び、美しく豊かなふるさとを守ろうとしている地域の人々の思いに触れることができた。また、そのための活動に自分も参加することによって、地域のつながりを意識することができた。
- コウノトリが飛来する里を昔のことととらえるのではなく、自分達でこれからの地域づくりをするんだという意識を持って、自主的に何らかの活動ができるようにしたい。

※A 4 版 1 ～ 2 枚程度で作成してください。